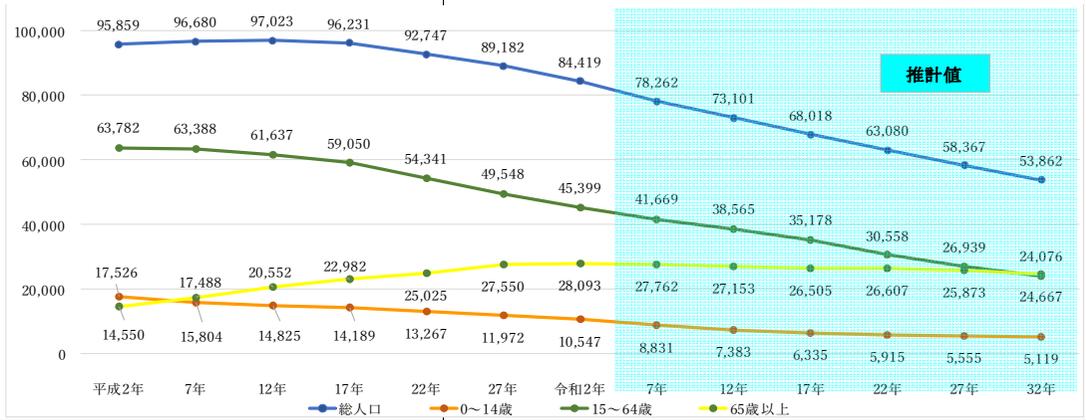


ページ	行	修正前	修正後	備考
5	10行目	飛騨の民家を集めた飛騨民俗館（現：飛騨民俗村）	荘川村から移築した飛騨民俗館（現：飛騨民俗村構内旧若山家住宅）	
7	6-7行目	基本理念を「人を育み 未来につなぐ」とし、美しい自然や景観	基本理念を「人を育み 未来につなぐ」、美しい自然や景観	
7	下から3行目	令和7年3月	令和7年（2025）3月	
9	下から13行目	平成6、7年度	平成6、7年度（1994、95）	
9	下から12行目	平成8年3月	平成8年（1996）3月	
11	6行目	平成8年から・・・昭和30年に	平成8年（1996）から・・・昭和30年（1955）に	
19	5-6行目	令和2年（2020）の年齢階層別人口の割合は、年少人口（14歳以下）33.4%（28,162人）、生産人口（15～64歳）54.1%（45,703人）、高齢者人口（65歳以上）12.5%（10,554人）となっています。	令和2年（2020）の国勢調査による年齢階層別人口の割合は、年少人口（14歳以下）12.6%（10,547人）、生産年齢人口（15～64歳）54.0%（45,399人）、高齢者人口（65歳以上）33.4%（28,093人）となっています。	
19	7行目	国勢調査による人口のピークは、市町村合併後の平成17年（2005）の96,231人です。	国勢調査による人口のピークは、市町村合併後の平成12年（2000）の97,023人です。	
19	8-9行目	国勢調査人口及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年12月推計）」を基に高山市が推計した推計総人口は、令和32年（2050）時点で57,713人です。	国勢調査人口及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年12月推計）」が推計した推計総人口は、令和32年（2050）時点で53,862人です。	
19	10-12行目	平成2（1990）年から令和32年（2050）の高山市の人口及び推計人口の推移（総人口・年齢3区分別）を見ると、生産人口は下降傾向で、年少人口は令和2年までは緩やかに上昇し、その後の推計値は減少傾向、高齢者人口は実数・推計値ともに減少しています。	平成2年（1990）から令和32年（2050）の高山市の人口及び推計人口の推移（総人口・年齢3区分別）を見ると、年少人口・生産年齢人口はともに下降傾向で、高齢者人口は令和2年までは緩やかに上昇し、その後の推計値は減少傾向となっています。	

20	図11	<p>数値差し替え</p> 	
20	図11		<p>差し替え後</p> 
28	写真13	高山陣屋の郷蔵	高山陣屋の御蔵
31	10行目 (ほか)	飛驒民俗村飛驒の里	飛驒民俗村・飛驒の里 p69下から13・7・5 行目、p70表、p78 13行目、p83表 No. 42、p87表 No. 85、p117下から 2行目、p118表27 番、p122下から5行 目、p125No. 42
31	12行目	年間観光客入込者数	年間観光入込客数
31	21行目	観光客数	観光入込客数

36	18-19行目	高山祭とは、4月14、15日に行われる日枝神社の例祭である山王祭と、10月9、10日に行われる櫻山八幡宮の例祭である八幡祭の総称で、	高山祭とは、毎年4月14、15日に行われる日枝神社の例大祭である山王祭と、10月9、10日に行われる櫻山八幡宮の例大祭である八幡祭の総称で、	
45	図17（ほか）	せせらぎ街道	飛騨美濃せせらぎ街道	p98図21、p112図24、p121図25
51	2行目	かにかくに物は念わず斐太人の	かにかくに物は念わじ斐太人の	
54	(5)	追加	(5) その他の調査 建造物修理等に際し、所有者等が調査を実施し、報告書を刊行しています。	
55	(2)-2	重要文化財照蓮寺本堂移築修理工事報告書	p59に表(5)を追加して移動	
55	(2)-2	重要文化財阿多由太神社神社本殿修理工事報告書	p59に表(5)を追加して移動	
55	(2)-2	重要文化財熊野神社神社本殿保存修理工事報告書	p59に表(5)を追加して移動	
56	(2)-2 記念物	旗鉾経塚・旗鉾遺跡 発掘調査報告書	p59(4)-2 埋蔵文化財（丹生川村教育委員会）に移動	
56	(3)-2	飛騨国分寺本堂	p59に表(5)を追加して移動	
59	(4)-2 埋蔵文化財	尾崎城跡発掘調査報告書（第3次・第4次・第5次調査） S54年（1979）	尾崎城跡発掘調査報告書（第3次・第4次・第5次調査） H14年（2002）	
59	(4)-2 埋蔵文化財	丹生川村指定史跡 尾崎城跡発掘調査概報 H5年（1993）	尾崎城跡発掘調査報告書（第1・第2次調査） H5年（1993） 順番入れ替え	
59	(4)-2 埋蔵文化財	p54から移動	旗鉾経塚・旗鉾遺跡 発掘調査報告書 一般国道156号旗鉾地内改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	
59	(4)-2 埋蔵文化財	追加	門端縄文遺跡発掘調査報告書 S58年（1983） 清見村教育委員会	
59	(4)-2 埋蔵文化財	追加	堂之上遺跡 第6・第7次調査報告書 S55年（1980） 久々野町教育委員会	
59	(4)-2 埋蔵文化財	追加	前橋遺跡 H3年（1991） 朝日村教育委員会	
59	(4)-2 埋蔵文化財	追加	ごうろう遺跡発掘調査報告書 H8年（1996） 朝日村教育委員会	
59	(4)-2 埋蔵文化財	追加	青屋和田城跡発掘調査報告書 H10年（1998） 朝日村教育委員会	
59	(4)-2 埋蔵文化財	追加	南垣内遺跡 H7年（1995） 国府町教育委員会	

59	(4)-2 埋蔵文化財	桜本遺跡発掘調査報告書 S56年(1981)	桜本遺跡発掘調査報告書 H10年(1998) 順番入れ替え
59	(4)-2 埋蔵文化財	石橋廃寺調査報告書 付 一之宮神社古墳出土遺物 H16年(2004)	石橋廃寺調査報告書 付 一之宮神社古墳出土遺物 H17年(2005) 順番入れ替え
59	(4)-2 埋蔵文化財	追加	森ノ木遺跡 H11年(1999) 国府町教育委員会
59	(5) その他調査	表追加、p56(3)-2から移動	飛騨国分寺本堂
59	(5) その他調査	表追加、p55(2)-2から移動	重要文化財照蓮寺本堂移築修理工事報告書
59	(5) その他調査	表追加、p55(2)-2から移動	重要文化財阿多由太神社神社本殿修理工事報告書
59	(5) その他調査	表追加、p55(2)-2から移動	重要文化財熊野神社神社本殿保存修理工事報告書
59	(5) その他調査	表追加、内容追加	村山遺跡 S35年(1960)
81	No. 10	100年フード(文化庁)、うちの郷土料理・にっぽん伝統食図鑑(農水省)等の認定の推進	100年フード(文化庁)、にっぽん伝統食図鑑(農水省)等の認定の推進
89	図19	自然の恵みを活かす一周辺地域の交流と山国飛騨の起こりー	自然の恵みを活かす一周辺地域との交流と山国飛騨の起こりー
113	2行目	城跡15箇所	城跡15箇所(半角に修正)
124	No. 10	100年フード(文化庁)、うちの郷土料理・にっぽん伝統食図鑑(農水省)等の認定の推進	100年フード(文化庁)、にっぽん伝統食図鑑(農水省)等の認定の推進
126	12-13行目	春の日枝神社の例祭である山王祭、秋の櫻山八幡宮の例祭である八幡祭は、	春の日枝神社の例大祭である山王祭、秋の櫻山八幡宮の例大祭である八幡祭は、
133	下から13行目	高山祭屋台(25台) 内からくり屋台4台	高山祭屋台(25基) 内からくり屋台4基
135	関係団体	飛騨・高山観光コンベンション協会	飛騨・高山観光コンベンション協会、各観光協会

資料編

ページ	行	修正前	修正後	備考
3	No. 10	旧中藪家	旧中藪家	
24	No. 417	法林山蓮徳寺 清見 清見町夏厩	法林山蓮徳寺(旧所在 清見町夏厩) 高山 山田町	
41	No. 1381	関市→上岡本町の松原遺跡か?	上岡本町	
43	No. 1520	門端遺跡出土「土偶」 三日町	門端遺跡出土品 上小鳥	
45	No. 1637	久々野町久々野(堂之上にあるらしい)	久々野町渚	

81	No. 3778	上岡本町、西之一色町（丁目は不明、富田礼彦の墓は上岡本町4丁目）	上岡本町、西之一色町	
83	No. 3933	大洞町～山口町（位置確定なし）	大洞町～山口町	
88	No. 4198	弥勒（勒カ）堂遺跡	弥勒堂遺跡	
100	No. 115	坂下ゆかり	阪下ゆかり	